



チャイルド・ナーシング・ホーム

No.39

はなこみち

社会福祉法人 彩の国ふかや福祉会

住 所 埼玉県深谷市西大沼 44 番 1

電 話 048 - 574 - 3146

発 行 日 平成 23 年 6 月 25 日

Mail hanakomichi@iaa.itkeeper.ne.jp

URL <http://www.mycaregarden.jp/hanakomichi>

日本チャリティー 活動支援協会 ボランティア バーベキュー



5月15日、日本チャリティー活動支援協会及び新島学園短期大学等よりボランティア20人余が来園し、青空のもと園庭でバーベキューを行いました。食後にはみんなお腹がいっぱいなにもかかわらず、ドッチボールで大はしゃぎ！楽しい楽しい日曜日になりました。ありがとうございました。
～参加した子どもたちの声～

M・H 「わたしは、はなこみちで、はじめて、バーベキューをしました。わたしたちのチームはベジタボーです♥わたしたちがつくった肉は5分もしないうちに、肉は、すぐうりきれました。ほかにもはなこみちでいっぱいチャレンジしたいなと思います。」

F・I 「わたしは、5月15日バーベキューをしました。わたしは、肉や、やさいをやきました。あつくてあせがでたけどがんばってやりました。さいごは、ゲームをしました。ドッチボールをしてかちました。またやりたいです。」

M・T 「バーベキューは楽しかったです。みんなであそんだりしてとてもいい思い出になりました。たべものもととてもおいしかったです。またみんなで作ったりしたいです。ボランティアの人といっしょにあそんだりりょうりをつくったりしてとてもうれしかったです。またきてもらいたいです。またバーベキューでみんなとあそんだりしたいです。」

食育活動 シジミ&沢ガニ採り 村岡彰さん 市役所職員OB



5月2日(月)、GWの行事の一環としてはなこみち支援者村岡彰さんにボランティアとしてご協力頂き、児玉の山奥に沢ガニ取りにいきました。昼食前に出発し途中公園によりご飯を食べました。外でシートに座りみんなで食べるご飯も新鮮でした。

山奥に行くにつれて回りの雰囲気も変わり子ども達も期待に胸を膨らませていました。沢に到着しカニ取りを始めると初めてカニに触る子もいて怖がる子もいました。その中で子ども同士助け合う姿も見ることができました。雄・雌の見極め方も教えて頂き興味津津に話を聞いていました。その後近くでシジミがとれると言う事でシジミとりも体験させて頂きました。地域の協力を経て子ども達も楽しい良い体験ができたのではないかと思います。

キュウリ採り & イチゴ狩り



5月29日(日)にはなこみち支援者倉上由朗さん宅のハウスでキュウリ採り体験をさせていただきました。なかなか体験することのできないことで、子どもたちは大きなキュウリを見て大興奮!!

また、同日、はなこみち支援者木村富次さん宅のハウスでは、イチゴ狩りをさせていただきました。“大好きなイチゴを採って食べる”幸せそうな表情でした♡



【感想】

小学校6年生 H・E君

「ぼくは、はっちゃんときゅうりばたけにいきました。ちくちくをしたり、食べたりしました。はじめて行ってとてもたのしかったです。またいきたいです。」(※はっちゃん=施設長)

進学した子どもたち

今年度は小学校、中学校、高等学校それぞれに進学する児童がいます。進学する児童は計6人。今回は新しい環境に飛び込んでいくその6人から、「新年度の抱負」というテーマで一言ずつコメントをもらいました。みんながんばろう!!!

新高校1年生 H・Tちゃん
「文武両道を目指したいです。」

新高校1年生 S・Hちゃん
「一期一会。」

新高校1年 D・H君
「俺天才!最強!無敵!」

お題は「新年度の抱負」

新中学1年生 H・Sちゃん
「友達と仲よくしたい!」

新中学1年生 K・M君
「部活がんばりたいです。」

新小学1年生 C・Yちゃん
「みんなとともだちになりました。がっこうはたのしいです。」



ユニットから



そらまめ(男子ユニット)

そらまめユニットは男の子だけのユニットです。そらまめでは、高校入学が2名、新中学生が1名と新学期に奮闘している毎日です。小学生は深谷西サッカー少年団に3名所属しており、他機関との関わりもあります。最近では夏の施設対抗のソフトボール大会へ向け、気合の入った日々を過ごしています。

小池 旭央

もろこし(女子ユニット)

新学期が始まり、女の園もろこしも、どうなることかと思いましたが、それぞれにがんばっています。高齢児がだいぶ増えたのでバラバラに過ごす時間も多くなってしまっていて、寂しくなるのかなあと心配もしたのですが、先日のAKB総選挙にみ～んなで釘づけになっているのを見て、ホッとしました。

大井 倫子

かぶらユニット(小規模)

かぶらユニット最年長のCちゃんは地域の女子バスケットに参加していて日々頑張っています。Y君も地域の男子バスケットに参加し日々猛特訓。小学生末っ子のMちゃんはお絵かき大好きな女の子。幼児の長男坊R君は来年度からピカピカの1年生！ひらがなの勉強を少しずつ頑張っています。次男坊のN君も一緒にひらがなの練習をやっています。字が上手！末っ子のMちゃんはお喋り大好きな女の子。みんなで仲良く・楽しく・元気に生活しています。

中村 佑也

心理療法室

心理療法室は稼働して3年目に入ります。心理療法室に来る子どもは在園児童全員のなかでも、特に心理的なケアが必要とされている子どもが対象となり、決まった曜日の決まった時間に来ます。心理療法室は全員が対象ではない為に、子どもにとって特別な空間になっています。心理士が特別な存在であると共にこの特別な空間というのはとても大事なことで、子どもにとってより特別なものになるようにがんばっていきます。

古河 慎司

ミニバスと子どもたち (ぶちトマトユニット)



大谷 靖子

ぶちトマトユニットでは、現在、小学生5人が、地域のスポーツ少年団のミニバスケットチームにお世話になっています。始めるとき子どもたちの約束は、「ずる休みしない。」「途中で嫌になっても、投げださない。」「バスケの次の日も、ちゃんと早起きする。」ということでした。入部するにあたって何度も子どもたちと話し合いを続けました。何度も話し合いを持ったのは、子どもたちと職員だけではありません。毎週のように行われる試合会場への送迎、練習当番など、他の団員の保護者が当然のようにやっている事が、はなこみちの職員にはできません。監督や、保護者の方と、話し合いを重ねた結果、はなこみちの子どもたちは、深谷西ミニバスに入部する事になりました。

ミニバスをはじめると、子どもたちは、驚くほど成長しました。

朝ごはんを食べ終わるとシュートの練習。学校から帰ってくると宿題を一気に終わらせ、ドリブルの練習。毎日毎日、バスケットと共に生活が回っているような感じです。今まで、物を大切にしなかった子が、バスケットの道具を一生懸命手入れしたり、ミニバスの練習がある日は、荷物の用意、着替え、水筒の準備を全て自分で済ませ、「早く行こう」と、全員が待ち構えています。「本当にこの子たち続けられるかなあ・・・」と心配していた日が嘘のようです。何度か試合会場に応援に行きましたが、はなこみちの中では、見た事のない表情や、がんばりを見せてくれます。私たちはいつでも全力でプレーする子どもたちから、たくさんの感動をもらっています。

「どうして、ここまで、バスケットに熱中し、がんばっているのでしょうか？」正直、私にもよくわかりません。指導は厳しいけれど、心の底から褒めてくれる監督やコーチ、信頼できるチームメート、どの子にも分け隔てなくサポートしてくれる保護者の方。子どもたちは、そうした人たちに囲まれながら、全員でバスケットボールをつないでゴールを目指しています。

私たち職員も、感謝の気持ちを持ち続け子どもたちの応援を続けたいと思います。

職 員 研 修



埼玉県 施設派遣研修を終えて 保育士 内田 菜々穂

2月7, 8, 9日と、「上里学園」にて、派遣研修に行かせて頂きました。はなこみちの職員となってから、他施設を見学する機会もなく、とても良い経験になりました。アフターケアに力を入れている事や、就職支援を積極的に行なっているとお聞きし、まだまだ開設したばかりの退所児童の少ない自施設は、これから多くの事を学んでいかなければならないと、強く感じました。また、子ども達が困った時に、本当にSOSが出せるか…「自立」について、見つめ直すという話を受けました。子どもと接する中で、職員が一方向的にやり遂げ、子どもとの関わりに満足してしまっている状況も無きにしも非ず…と、日々感じております。当たり前ですが、大人の為ではなく、子どもの為の施設であるのだから、職員同士はもちろん、子ども一人一人と真剣に向き合い、話し合う事が大事だと改めて感じました。今までの子どもへの対応、施設職員としての在り方を振り返る良い機会となりました。



埼玉県 施設派遣研修を終えて 保育士 小池 旭央

2月の1・2・3日の3日間児童養護施設子供の町で研修をさせていただきました。「子供の町」は施設の規模が大きく自施設と比べてとても大きな施設でした。施設の大きさから違うので施設の形が違い、とても新鮮な体験をできたと思っています。大きく違ったのは、食事の配膳でした。自施設ではワゴンに乗って運ばれてくるのだが、「子供の町」は子どもと職員と一緒に厨房まで取りに行く形になっていた。子どもが食事を取りに行く事で食に対してや、自分でやるという意識づけにもなり良い点だと感じました。また、子どもに対しての支援も自施設とは多少違う面もあり、これからの自分の子どもに対しての支援の参考にしてみようと思う事ができました。他の施設を見る事で多くの事を学び情報交換をすることで双方の支援が良い方向になるので良い研修を行う事ができました。



小規模ユニットケア研修に参加して 保育士 中村 佑也

今回、「同仁学院」で4泊5日という長期間の研修に参加させて頂き、メリット・デメリットの現状を提示して頂く事で様々な視点から考察する事ができた。又、同仁学院での実践内容、はなこみち・愛泉寮・神愛ホームと研修生の様々な事例に基づき話しを進めて行く事で、より現実的に考える事ができた。毎日が盛り沢山で、考えなおした部分、改めて感じた部分、現場の生の声等、5日間の内容を頭の中で整理する事に大変時間がかかった。実際、小規模運営施設の状況を「見て、聴いて、体験し」学んだ事を今後の活性化に向け、はなこみちに反映できたらと思う。このような長期間の研修は中々体験できる事ではないと思う。とても良い経験をさせて頂いたと思う。



全国中堅職員研修会報告 保育士 北島 恵未

私にとって全国中堅研修はとても勉強になりました。今の施設に必要な事や問題点が見えてきた様に感じました。ひとりで問題を解決するのは無理なので、施設全体で考えなくてはいけないのだと改めて思いました。職員一人ひとりが「人」というのを考えて行動していければいいと思いました。思いやりを忘れず生活していきたいです。

社会福祉施設・社協新任職員研修に参加して 指導員 木部 苑子

新人研修に参加して、組織人としてのマナーを学ぶことができました。組織人としてのマナーの第一歩は「あいさつ」であり、「あいさつ」は、コミュニケーション手段のスタートの部分でもあります。毎日の生活の中でつかわれている、オ（おはよう）、ア（ありがとう）、シ（失礼します）、ス（すみません）の言葉は、人間集団の中でお互いの良好な関係を支えるクッションの働きとなり、日常的に自然な形で率先していくべきであると感じました。また、組織の中で一人ひとりの力は小さく、組織として動くことで大きな力になるということを学び、組織の考えを統一していくこと、報告・連絡・相談の重要性を改めて感じる事ができました。そして、今後も多くの研修・経験を重ね、ケースに応じた支援を学んでいきたいと思っております。

行事予定(7月・8月)

【7月】

- 3日 野球観戦招待(西武球場)
- 4日 東京 れんげ学園からの視察
- 5日 埼玉協・埼玉協 給食職員研修
- 8日 埼玉協・埼玉協 新任職員研修
- 9日 日本チャリティー活動支援協会 ソフトボール練習試合
- 10日 ジャガイモ掘り
- 12～13日 全養協 関東ブロック研究集会
- 21～24日 他施設合同キャンプ
- 24日 第2回 はなこみち「子ども祭り」
- 25～28日 アファンの森プロジェクト

【8月】

- 1日 3施設親善球技大会
- 23日 埼玉県児童養護施設 ソフトボール大会

はなこみち子ども旅行(日程調整中)

幼児…横浜アンパンマンミュージアム
～アンパンマンと遊ぼう～

小学生…新潟海水浴!!
～待ってる日本海!～

中高生…北陸方面検討中

もうすぐ夏休み!夏休みには「はなこみち子ども旅行」に「ソフトボール大会」と大きな行事があります。特にソフトボール大会は、前回準優勝!今年こそは優勝しようと毎週末は河川敷のグラウンドで猛特訓しています。他にも招待されているキャンプや施設の畑のジャガイモ掘り等楽しいイベント盛りだくさん!次回広報ではその様子をと伝え出来ればと思います。

報恩感謝 善意の寄付

- 穂山弘子 様 (宿根)
- 真下富夫 様 (高畑)
- チュチュアンナ 様
- 松原建設工業株式会社 様
- セカンドハーベスト 様
- 日本チャリティー支援協会 様
- TO YOU 様
- 更生保護女性会 様
- さいたま COOP 様
- 倉上由朗 様
- 木村富次 様
- 山田タイヤ 様

いつも温かいご支援ありがとうございます。

あなたも活動しませんか?

ボランティアサークル 花小路 会員募集

はなこみちを支援するボランティアグループです。
本格的に活動するため、会員を募集しています。

活動内容

- ① 遊びボランティア
- ② 学習支援ボランティア
- ③ お掃除・お洗濯ボランティア
- ④ 短期里親ボランティア
- ⑤ 農園支援ボランティア
- ⑥ その他

～編集後記～

新年度が始まり2カ月が過ぎました。今年度からは広報係が中心となり、今までの広報とは少し違った記事も載せていこうと考えています。特に、子どもたちの生活の様子や行事に参加した子どもたちの声を積極的に取り入れていこうと思っています。今回の号はその第一歩として、つくりました。これから手探りで記事もデザインも作っていきます。(広報係:大谷靖子 古河慎司 小池旭央 大井倫子)